

## ユーピーの英検1級合格体験記      2008年秋合格

私が英検1級をとりたいと初めて思ったのは、2004年に遡ります。

### 2004年～

それまでも英語は好きで、NHKラジオの英会話講座を聞いたり、通信教育をしたり、いろんな形で勉強をしていましたが、英検を受けたのは学生時代にとった2級以来、かなりのブランクがありました。

独学で勉強してTOEICは800点くらい取っていました。過去に英語関連の仕事をしたこともあるし、自分は平均的な日本人よりはちょっと英語ができるかな、なんて思っていました。しかし、実際は貧相なものでした。

Newsweekを買ったりしたこともありましたが、結局手つかずでした。もっと圧倒的な勉強をして、手ごたえのある力をつけたいと思い、英語教室を模索していました。

そんな時、ネットでヒットしたのが「茅ヶ崎英語教室」でした。すぐにオリエンテーションを受け、入会、準中級クラスに入りました。(茅ヶ崎英語教室は日本人の先生で主にニュース英語のリスニング、内容理解を勉強します。英検合格を目的とはしていません)

茅ヶ崎英語教室の生徒には英検一級保持者がたくさんいて、また、一級をめざしている人がたくさんいることを知り、私もその仲間入りをしたいと思いました。

しかし、当時の私は、まだ準一級さえ、受けていませんでした。とにかく、準一級をクリアして、早く一級を目指す仲間入りをしたいと思いました。

ところが、準一級の問題も、かなり難しく、知らない単語がいっぱい出てきて、悪戦苦闘の日々が続きました。しかし、こんなところで足踏みをするわけにはいきません。何しろ、一級を目指すのですから、準一級をクリアできなければ、お話になりません。

### 2005年～

準中級クラスというのも、不満でした。早く中級クラスに上りたくて、必死に勉強しました。

その甲斐あって、一年後には中級クラスに昇級、準一級にも一発合格できました。とにかく、根性で語彙を覚えまくって勝ち取った準一級でした。

さて、早速一級受験対策に移ろうと考えました。しかし、一級の問題を見た瞬間、啞然となってしまいました。とても、私の手に負えそうなレベルではありませんでした。

すぐに受けてもみじめなだけだと思い、3年計画を立てました。2年間は英検に特化せず、週一回の茅ヶ崎英語教室の授業とその予習復習に専念し、その傍ら、新聞やPBをどんどん読み、読むスピードを上げること、もちろん語彙をふやすこと、そして茅ヶ崎英語教室の上級クラス昇級を目指そうと思いました。

Japan Times や分厚いPBを読み始めたのもこの頃です。

ハリーポッターの1～5巻を約1年かけて読破しました。それが役に立ったかどうかはわかりませんが、そんなに分厚い英語のPBを読んだのはハリーポッターが初めての経験で、好きなお話なら途中で挫折することなく読めるという自信につながったと思います。

## 2007年～

その後も茅ヶ崎英語教室の授業、予復習の他に、新聞、PB、DVDなど、手当たり次第にできる限り英語の勉強に時間を費やしました。がんばった甲斐あって、2年後には上級クラスに昇級、TOIECも895点と、900点にあと5点のところまで迫ってきました。

オプションコースのTIMEコースも受講、日々忙しい中、わずかな時間を見つけて英語の勉強をする毎日が続きました。

そろそろ英検一級の受験をと思いましたが、問題集を見て、まだ躊躇していました。でも、3年前に雲の上のように感じられた一級が、だんだん身近な、手の届くところへ近づいてきていると感じ始めていました。

## 2008年～

3年計画を実践するためには、これ以上躊躇してはダメだと思い、今年は絶対一級に挑戦することを決意しました。

まず、過去問やら、対策本を購入し、少しずつやり始めました。語彙、読解問題をどんどんやっていました。自己採点では合格点にはまだ遠かったのですが、今年は合格すると決心しましたので、後には引けません。

とうとう6月の受験を申し込みました。受験の3ヶ月前くらいから、エッセイに着手しました。エッセイは苦手で、どんどん後回しにしていたのですが、ここまできると、これ以上後回しにはできませんでした。

トピックを決めて、200字前後、最初はひとつのエッセイを書くのに何時間もかかっていたのですが、だんだん曲がりなりにも30分くらいで書き上げるようになりました。

内容的にはとても素晴らしいと言えるものではありませんでしたが、なんとしてでも、200字前後のまとまりを書く、ここでも根性を貫きました。

リスニング対策はほとんど何もせずに試験当日を迎えました。

## 6月受験

過去問の自己採点では合格点ギリギリのボーダーラインくらいの点数はとれるようになっていました。自信はありませんでしたが、がんばって行こう！自分で自分を奮い立たせました。

試験中はものすごく集中し、自分ではいつもどおりできたと思いました。ところが、翌日の解答速報を採点すると、エッセイ抜きで50点しかありませんでした。

自分ではできたと思ったリーディングがほとんどはずれていて、とてもショックでした。

これではエッセイを満点とっても合格点には到達しそうにありません。

今回は涙を吞んで次回にかけるつもりでした。

## 英検無効

ところが、数日後、英検協会から思わぬ手紙が届きました。

不合格通知にしてはえらい早いなと思い、開けてみると、

「受験当日、リスニング時、騒音などの不備があったため、今回の試験は特別措置をとります。」とのことで、

次の4つの選択肢がありました。

1. このまま今回採点してほしい。
2. 来週の特別に設けられた試験日に、リスニングだけ再受験したい。
3. 今回の採点はせず、次回(10月)に再受験したい。
4. 今回の採点はせず、次回も受験しない。受験料を払い戻してほしい。

自己採点で自信があれば、1を選ぶところですが、リーディングで失敗していた私は、迷わず3を選びました。

今回、無料で模擬試験を受けたようなものだと思えば、なんだか得をしたような気分でした。

この幸運を自分の強力な味方とし、次回の10月は初めて受けるつもりで、新たな気持ちでがんばろうと思いました。

## 10月受験

さらに語彙、リーディングの練習を積み、エッセイ練習も続けていました。

過去問では、合格点を少し超えるくらいになっていました。

それでも、当日はどんな問題が出るかわからないし、自信はありませんでした。

試験中は6月の時と同じように集中して受けることができました。リーディングもリスニングも、前回よりは少し手ごたえはありました。エッセイもしっかりと約200字を書き上げました。

翌日、解答速報、自己採点、6月の時と同じ手順を踏みました。

そしたら、なんと今度はエッセイを除いて65点ありました。

思わず「やった！」と思いました。すぐに茅ヶ崎英語教室の二次対策クラスに申し込みました。

何しろ、二次対策は何にもやっていませんでしたので、こちらの方がもっと自信ありませんでした。

茅ヶ崎英語教室の二次対策クラスはすごいと聞いていましたが、たった3回しかないので、そんなんで二次に受かる力がつかどうか疑問でしたが、そんなことは言ってられません。

とにかく、やらねばなりません。二次対策クラスでは他の生徒さんに比べて自分のスピーチはお粗末なものに思えました。

でも、なんとしても、やらねば！！

自分の作ったスピーチを毎日、音読、音読、そして常に合格した自分を想像していました。

合否速報の出る日、ドキドキしながらクリックしました。「合格」の文字が私の目に飛び込んで来ました。

エッセイは思ったより低い点数でしたが、なんとかギリギリ一次試験通過を果たしたのです。

## 二次試験

本当言うと、本当に自信ありませんでした。

でも、茅ヶ崎英語教室の先生に言われたとおり、決して否定的なことは、考えない、言わない、

と自分に言い聞かせ、合格した自分を思い浮かべるようにしていました。

先生や家族や友人や、応援してくれた人たち、みんなに、「受かったよ！」と報告している自分を想像しました。

試験会場では、ドキドキしました。

でも、やはり、根性で受からねば！と思いました。

いよいよ自分の順番になり、部屋へ入ると、インタビュワーのネイティブの方と日本人の方が満面の笑みで迎えてくれていました。

先生から「ネイティブのインタビュワーは愛想悪い」と聞いていたので、ちょっと以外でした。

ここは私も満面の笑みで返さなきゃと思い、できる限りの愛想のよい笑みを浮かべながら、スモールトークに入りました。

できるだけ大きな声で、はっきりと、「私は東大阪市で生まれ、東大阪市で育ち、他の市へは一回も引っ越したことの無い、完全東大阪人間です！」と言いました。

そしたら、インタビュワーの2人がちょっと笑ったんで、心の中で「ちょっと受けたかな？」と思いました。

続けて「自分は英語の勉強がすごい好きで、毎日一生懸命勉強してきました。今日のこの日を通過点とし、さらに自分の英語を向上させるために、今日はここに来ました。」というようなことを言うと、またちょっと受けました。

私の必死で言う様がおかしかったのかもしれませんが。

さて、いよいよトピックです。恐る恐る課題の紙を表に返すと、5題のトピック、

見渡したところ、4つは難しそうな話題で、

唯一5番が “Do you think violent video games affect people?” という割と身近なトピックでしたので、迷わず5番を選びました。

と、ここまではよかったのですが、トピックが身近なものであったにもかかわらず、スピーチはあまりうまく言えませんでした。

理由を3つ挙げようとしたのですが、どうしても2つしか思いつかず、2つで conclusion 。

心の中で「しまった、早く終りすぎた。」と思いましたが、案の定、インタビュワーから、“Did you finish?” とちょっと驚いたような顔つきで聞かれてしまいました。

慌てて少し補足しましたが、それも、あまり具体的なよい例とは言えず、すでに言ったことをちょっと言い換えたに過ぎませんでした。

「ダメだ」と思いかけるのをなんとか思いとどまらせ、必死で Q&A に答えました。

その時も、文法を間違えたり、適切な単語は使えていなかったりで、うまく言えたとは思えませんでした。

しかし、最後まで望みは捨てず、時間終了となった後は、また満面の笑みで “Thank you very much !” と大きな声で言いました。

自分で思うに、うまいスピーチとは思えませんでした。本音は無理かな、と思いました。

でも結果が出るまでは、決して否定的なことを考えないと心に決めていました。

試験終了後もやはり合格した自分を想像しながら、「受かれ」「受かれ」と念じていました。

## 合格

英検の HP は時々チェックしていました。もうそろそろ合否速報が出るのだろうか？と気になっていました。

ある日 HP を見ると、「二次試験の合否結果を発表しています。」とありました。

またドキドキしましたが、思い切って「受かれ！」と叫びながら、クリックしました。

そうすると、また「合格」の文字が私の目に飛び込んできました。私の念じたのが本当に通じたのか！！！！

すごい！すごい！！すごすぎる！！！！と思いました。

まさにギリギリで、根性でしがみついたような合格でしたが、合格だ！合格！

ずっと夢に見てきた一級をついに手にしました。

先生方、応援くれた友人たち、家族、みんな本当にどうもありがとうございました。

もう、「何も言えない」・・・

#### ※追記1

久しぶりに英検1級合格体験記を読み返しましたら、当時の必死に勉強した様子がまざまざとよみがえり、本当によくやったな～と思い出します。

でも、実はユーピの本当の勉強は実はここから先です。

英検1級合格後も勉強をさらに続けた結果、その1年後には、TOEICで970点、さらに1年後通訳案内士試験にも合格しました。

しかし、その後、英語の勉強だけではいけない、英語はあくまでもツールであるので、自分の仕事に役に立つようなビジネス分野、また幅広い教養や知識を身に着けるには、英語ではなくて、母国語である日本語で勉強する方がはるかに速いし、そうすべきだと感じました。

それで、まず仕事に役に立つと思われる、企業会計や法律知識などを勉強し、ビジネス会計検定3級、Batic accountant level、年金アドバイザー3級、消費生活アドバイザーなどの資格を取得、英語の勉強も同時並行で続けています。

仕事でも英文を読んだり書いたりする機会も増えてきました。今は、工業英検1級取得が主な目標です。

これからもっと英語の向上はもちろん、いろんな知識・教養・ビジネス関連の勉強も充実させていきたいと思えます。また本やネットなどでの勉強に加え、周囲の方々から多くのことを学びたいと思えます。そして自分のやってきたことを社会の役にたてるよう、がんばっていきたく思います。

これからもがんばれー、ユーピ！ また、これから英語を勉強する方々の応援をしたいと思えます。

みんながんばれー！

2014年9月 ユーピ